

## 高知県の原木生産量（令和2年）の公表について

高知県における令和2年の原木生産量について、お知らせします。

### 1 高知県の原木生産量（令和2年）について

令和2年の原木生産量は637千m<sup>3</sup>となり、令和元年と比べると34千m<sup>3</sup>の減（対前年比95%）となっています。

その需要部門別の内訳は、製材用は54千m<sup>3</sup>の減となっていますが、合板用及び木材チップ用は1千m<sup>3</sup>の増となっています。

また、木質バイオマス関連施設（木材統計調査の対象外）への原木入荷量は、前年と比較すると19千m<sup>3</sup>の増となっています。新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本経済が低迷するなか、木材需要も減少し製材用の原木生産量が下がる一方で、木質バイオマス発電への供給量が増加し、平成27年からの木質バイオマス関連施設の調査以来、最高の原木供給量となりました。

（単位：千m<sup>3</sup>）

区 分	令和元年	令和2年	増減	備考
原木生産量 ① = (a) + (b)	671	637	▲34	
木材統計 (a)	550	497	▲53	農林水産 省調べ
製材用	390	336	▲54	
合板用及び木材チップ用※	160	161	1	
木質バイオマス関連施設 (b)	121	140	19	高知県調 べ
原木	121	140	19	
(参考) 枝条等 ②	(30)	(27)	(▲3)	
(参考) 枝条等を含めた生産量 ①+②	(701)	(664)	(▲37)	

※木材統計の木材チップ用の数値には、木質バイオマスの用途は含んでいません。

#### 〔集計方法〕

令和3年4月30日に農林水産省により公表された「令和2年木材統計」の素材生産量の調査対象は、製材工場、合単板工場、木材チップ工場、集成材工場、LVL工場及びCLT工場となっています。この統計には、県内2ヶ所で稼働する木質バイオマス発電所等への原木の入荷量が含まれていないため、平成27年から高知県が木質バイオマス関連施設の原木入荷量を調査し、これを加えて高知県全体の原木生産量として公表しています。

## 2 今後の取り組みについて

新型コロナウイルス感染拡大が続いており、日本経済の見通しは不透明ですが、木材の流通においては、外国産材の入荷減により国産材への関心が高まっています。また、昨年大幅下落した木材価格は本年4月には前年同期を上回っています。こうした状況を受け、各林業事業者においては、原木の増産に向け動き出しています。

県としては高性能林業機械の導入や作業道及び架線設備への支援を行うとともに、作業システムの改善による労働生産性の向上、事業戦略の策定による計画的な事業運営や労働環境の改善など、原木の増産と併せて林業事業者の経営基盤の強化に取り組んでまいります。

第4期産業振興計画では、3年後（令和5年）の原木生産量の目標を796千 $\text{m}^3$ と設定しており、新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しつつも全国的な国産材へのシフトをチャンスととらえ、その達成に向けて官民一体となった取り組みを進めてまいります。